

しょうとくたいし 聖徳太子 (厩戸皇子) (574 ~ 622)

冠位十二階・憲法十七条を制定、遣隋使を派遣。



学校で習ったレベル

- 1. 聖徳太子は の子である。(関大)
- 2. 聖徳太子は 天皇の摂政となった。(同志社)
- 3. 豪族の とともに政治を行なった。(立命館)
- 4. を定め、個人の才能・功績を重んじた。(慶應)
- 5. 役人の心得として、 を定めた。(関大)
- 6. 小野妹子を として派遣した。
- 7. 聖徳太子の宮殿を という。
- 8. 摂津国に 寺を建立した。(慶應)
- 9. 607年、飛鳥に 寺を建立した。(日大)
→この寺院の西院伽藍は、世界最古の である。
- 10. 法隆寺の は、聖徳太子の像といわれる。
- 11. 『』『』という歴史書を編纂した。
- 12. 『』という經典の注釈書を著した。(京産)
- 13. 中宮寺の は、妻の橘大郎女が、聖徳太子の冥福を祈って織らせたものである。(実践女子)
- 14. 子の は、蘇我氏に滅ぼされた。(成城)

大人として知っておきたいレベル

- 15. 聖徳太子の墓は大阪府太子町の にある。

こぼれ話

聖徳太子は、現在の教科書では「厩戸王(聖徳太子)」と表記されることが一般的です。これは、他の天皇の子が「王」や「皇子」で記されているため、聖徳太子の表記もそれに統一したからです。聖徳太子がいなかったわけではありません。

用明天皇

推古天皇

蘇我馬子

冠位十二階

憲法十七条

遣隋使

斑鳩宮

四天王寺

法隆寺

木造建築物

救世観音像

天皇記・国記

三経義疏

天寿国 繡帳

山背大兄王

叡福寺

おののいもこ 小野妹子 (生没年不詳)

遣隋使として隋に渡り、中国と対等に渡り合おうとした男。



学校で習ったレベル

- 1. 607年、 として中国に渡った。
- 2. 隋の皇帝 に国書を渡した。(中央)
- 3. 彼の持参した国書に「日出ずる処の 、日没する処の に書を致す」と記されていたため、煬帝は怒った。
- 4. 608年、隋の使い とともに帰国した。(中央)
- 5. 608年、留学生 、留学僧 ・ とともに再び隋に渡った。(早大)
- 6. と は、大化の改新で国博士となった。(岡山大)
- 7. は、唐で亡くなった。(立命館)

大人として知っておきたいレベル

- 8. 帰国の際、煬帝の国書を (国名) 人に奪われた
とって献上しなかったため、流刑にされかけた。
- 9. 隋では と称していた。

こぼれ話

小野妹子の「子」の字に違和感を覚える人は多いと思います。男性なのになぜ「子」という字がつくのだろうと。しかし小野妹子の名前の違和感は、実は「妹」のほうなのです。「子」が女性の名前になったのは奈良時代からです。ただ、「妹」という文字は、本来、愛する女性に用いる文字で、男性の名に用いられることはなく、これは歴史のナゾとなっております。

煬帝が日本からの国書に怒った理由は、隋を「日没する処」と書いたからだけではありません。中国の皇帝と日本の天皇を、どちらも「天子」と書いて、同列に扱っていたからです。

遣隋使

煬帝

天子

天子

裴世清

たかむこのくろまる 高向玄理

みん みなみぶちしやうあん 旻・南淵請安

高向玄理・旻

高向玄理

百濟

蘇因高

古代

たいらの まさ かど
平将門 (?~940)

関東を自らの帝国にしようとした男。



学校で習ったレベル

- 1. 曾祖父は [★★★] 天皇である。(日大)
- 2. 祖父は [★]、父は [] である。(関学)
- 3. 935 (承平5) 年、所領争いで叔父の [★] を殺害した。(早大)
- 4. 下総国の [★] を拠点とした。
- 5. [★]・[★]・[★] の国府を占領した。(青学)
- 6. 自らを [★★★] と称した。(早大)
- 7. 平国香の子、[★★] と押領使 [★★] に討たれた。
- 8. 『 [★★★] 』は平将門の乱を題材にした軍記物語である。

大人として知っておきたいレベル

- 9. 東京都千代田区大手町には平将門の [] がある。
- 10. 2020年に発表された地価公示価格によると、平将門の首塚のある土地(およそ44坪)の価格はおよそ [] 円である。
- 11. 藤原秀郷は、 [] とも呼ばれ、近江三上山の百足を退治した伝説がある。

こぼれ話

「平将門の首塚」の伝説について。平将門は討たれた後、その首級(討ち取られた首のこと)は平安京まで送られ、東の市、都大路で晒されます。しかし、3日目、その首が突然夜空に舞い上がり、故郷に向かって飛んでゆき、数カ所に落ちたのです。そのうちの1カ所が千代田区大手町にあります。首塚は、必ず「戻ってくる」ということで、旅行の無事などを祈る場所として今でも崇拜されているのです。

ふじ わらの すみ とも
藤原純友 (?~941)

貴族から海賊に! 瀬戸内海を荒らし回った男。



学校で習ったレベル

- 1. 元々、 [★★] 国の国司だった。(早大)
- 2. 国司の中では、下から2番目の [] のランクだった。
- 3. [★★] の海賊討伐に成果を出していたが、そのうち自らが [★★] の海賊の棟梁となった。
- 4. [★] を拠点に海賊となった。(早大)
- 5. [★★] を焼討ちにした。
- 6. 追捕使 [★] と源氏の祖である [★★] に倒された。
- 7. 平将門の乱と藤原純友の乱を総称して [★★] の乱という。(中央)

大人として知っておきたいレベル

- 8. [] 家は、愛媛県の出身で別子銅山の経営で財を成したこともあり、藤原純友の子孫といわれることがあるが、実際は、戦国武将「順美平内友定」の子孫である。
- 9. 平将門と藤原純友が、 [] で「同時に反乱を起こして平安京を奪おう」と謀議したという伝説があるが、両者とも地元から離れていないため、史実とはいえない。

こぼれ話

設問8と9は、時々聞く伝説ですが、いずれも史実とはいえません。しかしだからといってこれらの話がデタラメだと片付けるのは早計です。江戸時代に幕府以外であれだけの大きな鉱山を開発したというのはものすごいことなので、「あの人はきっと藤原純友の子孫に違いない」という伝説が生まれたわけですし、当時、承平・天慶の乱は人々に大きな衝撃を与えたため「彼らは平安京を奪おうとした」といった伝説が生まれたわけです。

桓武天皇
平高望、平良将
平国香
猿島
常陸・上野・下野
新皇
平貞盛、藤原秀郷
将門記
首塚
40億円
依藤大

伊予
鎌
瀬戸内海
瀬戸内海
日振島
大宰府
小野好古、源経基
承平・天慶の乱
住友
比叡山

楠木正成 (1294?~1336)

戦前は大英雄。今の教科書では軽く触れるだけ。



学校で習ったレベル

- 1. (旧国名) の豪族であった。
- 2. 後醍醐天皇に呼応して、 城で挙兵した。
- 3. 城で、幕府軍を引きつけ、幕府軍を翻弄した。
- 4. 建武政権に反した (★★) を九州に敗走させた。
- 5. (★★) の戦いで足利尊氏に敗れ亡くなった。(関大)

大人として知っておきたいレベル

- 6. その偉大な業績から と呼ばれた。
- 7. 建武政権の樹立に貢献し の国司と守護に就任した。
→ の守護にもなった。
- 8. 湊川の戦いでは、弟の とともに自害した。
- 9. 兵庫県 神社の主祭神である。
- 10. 死後、子の が畿内の南朝軍の中心となった。
→彼は、 で高師直軍と戦って敗死した。
→彼は、 と称された。
- 11. アニメ映画「この世界の片隅に」では、楠木正成が考案したとされる が登場する。

こぼれ話

設問 11 以外は全て戦前の教科書に載っており、戦前の小学生なら全問正解できる内容です。「楠公飯」は、炒った玄米を3倍の水に一晩浸けて炊くと量をかさ増しすることができ、食糧事情の悪い終戦直前期に推奨されたものです。人々には美味しくないと不評だったようです。これを楠木正成が考案したというはおそらく事実ではないですが、正成が千早城で100日間にわたる籠城戦を耐え抜いたことからこのようなエピソードが生まれたのでしょうか。

新田義貞 (1301?~1338)

鎌倉幕府を滅ぼした建武政権の雄。



学校で習ったレベル

- 1. (★★★) を攻め、幕府を滅ぼした。
- 2. 建武政権では (★) の頭人となった。(國學院)
- 3. 建武政権に反旗を翻した (★★★) を九州に敗走させた。
- 4. (★) の戦いで戦死した。
- 5. (★★) は、新田義貞の次男を滅ぼし、初代鎌倉公方となった。

大人として知っておきたいレベル

- 6. (旧国名) を拠点としていた。
- 7. 新田氏は の孫 が、上野国新田荘に土着して生まれた。
- 8. 鎌倉攻めの際 が、父足利尊氏の代理で参戦した。※彼が後の室町幕府2代将軍となります。
- 9. 建武政権では、 ・ ・ の国司となった。
- 10. 後醍醐天皇の子の 親王・ 親王を奉じて越前で再起を図った。
→越前の 城で再起を図った。
- 11. 子の は、足利基氏に滅ぼされた。

こぼれ話

戦前の小学校の歴史の教科書には「新田義貞」という独立した項があるほどの人物でした。義貞は越前で再起を図りますが、子の義顕は金ヶ崎城で尊良親王とともに自害。義貞は藤島の戦いにわずか50騎で救援に向かいましたが、自らの馬が矢にあたって泥田の中に倒れ、その際、矢が額にあたって亡くなってしまいました。

たけだ しんげん
武田信玄 (1521 ~ 1573)

甲斐の虎。信長が最も恐れた男で温泉好き。



学校で習ったレベル

- 1. ★★★ 〈国名〉を中心とした戦国大名である。
- 2. 上杉謙信と★★の戦いで何度も争った。
- 3. ★で、信長・家康連合軍に圧勝した。
- 4. 子の★★は織田信長に滅ぼされた。(高崎経済)
- 5. 『★★』〈漢字7文字〉という分国法を定めた。

→この分国法には、家臣同士の私闘を禁止する★★が定められた。(立命館)

- 6. ★★★という堤防を築いた。(立命館)
- 7. ★★という鉱山を開発した。

大人として知っておきたいレベル

- 8. 武田氏は□□□氏の支流である。
- 9. 信玄は法号で、名を□□□という。
- 10. 家紋は□□□である。
- 11. 父の□□□を追放して甲斐国主となった。
- 12. 三河の☒攻囲中に病に倒れた。
- 13. 旗印の通称□□□は、「□□□如風、□□□如林、□□□如火、□□□如山」の略である。
- 14. 信玄の愛した温泉は、□□□と呼ばれている。

こぼれ話

武田信玄は大の温泉好きとして知られていますが、家臣の傷を癒すことも主な目的だったようです。ここに信玄の家臣想いの一面を見ることができます。

甲斐
川中島の戦い
三方ヶ原の戦い
武田勝頼
甲州法度之次第
(信玄家法)
喧嘩両成敗

信玄堤
甲斐金山

清和源氏
晴信
武田菱
武田信虎
野田城
風林火山、疾、徐、
侵掠、不動
信玄の隠し湯

やまもと かんすけ
山本勘助 (生没年未詳)

武田信玄の軍師といわれる人物。最近、実在を確認!



学校で習ったレベル

教科書には載っていません。

大人として知っておきたいレベル

- 1. □□□〈旧国名〉の人である。
- 2. □□□の参謀を務めた。
- 3. 目は□□□で、脚は□□□であった。
- 4. 1561(永禄4)年の□□□で討ち死にした。
→このとき享年□□□といわれている。
- 5. ☒の祖とされる。
- 6. 江戸時代初期に成立した武田氏の軍学書である『□□□』に初めて登場する人物である。
→最近、☒と記された当時の文献が複数発見された。
- 7. 敗れかかった軍を立て直した□□□という戦法で有名である。

※これは信州砥石城攻略の際の勘助の功績です。勘助は、武田勢の背後を突いてきた村上義清の大軍に対して、わずか50騎の兵で村上軍を挑発しました。すると、この挑発にはまった村上軍は勘助の一隊を追い始めたのです。そこで武田軍本隊は村上勢を追撃して劣勢を挽回し、武田軍は砥石城を攻略したのです。

こぼれ話

山本勘助については、長年、伝説上の人物であるとされてきました。しかし、昭和44年(1969年)、大河ドラマ『天と地と』を観ていた北海道釧路市在住の視聴者が、先祖伝来の古文書から戦国時代のもつとみられる「山本菅助」の名が記された1通の書状を探し、鑑定を依頼したところ本物であることが確認されました。これをきっかけに「山本菅助」の名が記された文書が各地で発見され、山本勘助が実在したのではないかといわれるようになりました。

三河
武田信玄
独眼、隻脚(片足のみ)
川中島の戦い
69
武田流兵法
甲陽軍鑑
山本菅助
破軍建返し

こん どう いさみ
近藤 勇 (1834 ~ 1868)



新撰組局長として、最後まで幕府を守り続けた漢。

学校で習ったレベル

- 1. ★★ の局長となり、幕臣となった。
→この組織は、★★ の指揮下に置かれた。
- 2. ★★ 事件で、尊攘派を多数殺傷した。

大人として知っておきたいレベル

- 3. 国 郡の出身である。
- 4. の三男である。
- 5. 幼名を という。
- 6. 変名を という。
- 7. の養子となった。
→彼は、 流の師範である。
- 8. 幕府の に採用され、 らとともに新撰組を結成した。
- 9. 新撰組では を務めた。
- 10. 戊辰戦争の際、江戸で を組織した。
- 11. 戊辰戦争で、 入城に失敗した。
→この戦いを の戦いという。
- 12. 戊辰戦争で、 で新政府軍に捕らえられた。
- 13. で斬首された。

こぼれ話

近藤勇の特技は、口にげんこつを丸ごと啜えこむことでした。近藤が尊敬していた加藤清正も同じ特技を持っていたといわれていたため、「自分も加藤清正のように出世したいものだ」と周りに語っていたそうです。

ひじ かた とし ぞう
土方歳三 (1835 ~ 1869)



近藤勇の盟友。近藤勇を支え、五稜郭の戦いで散った。

学校で習ったレベル

- 1. 近藤勇とともに ★★ の中心人物である。

大人として知っておきたいレベル

- 2. 国 郡の出身である。
- 3. 名を という。
- 4. 変名は である。
- 5. 生前に父を、6歳で母を失い、 夫婦に育てられた。
- 6. 剣術は から、 流を学んだ。
- 7. 近藤勇とともに、幕府の に応募して上洛した。
- 8. 新撰組の となった。
- 9. 新撰組では法の番人的存在で の遵守を徹底させた。
- 10. 戊辰戦争の際、近藤勇とともに を組織した。
- 11. 戊辰戦争では、 で戦死した。
→このとき、 (人名) の軍の幹部であった。

こぼれ話

土方歳三という新撰組のイケメンというイメージがありますが、性格もなかなかイケメンだったといわれています。箱館五稜郭で土方歳三は戦死するわけですが、死を悟った土方は、まだ年の若い小姓である市村鉄之助の命を救うため、わざと厳しく用事を言いつけることで戦地を離れさせたとある話があるのです。小姓とともに戦死する武将や幕末の志士の多い中、男でも惚れてしまいそうなイケメンエピソードといえます。

新撰組
京都守護職
池田屋事件
武蔵国、多摩郡
宮川久次郎
昌宜
大久保大和
近藤周助
天然理心流
浪士組、芹沢鴨
局長
甲陽鎮撫隊
甲府城
甲州勝沼の戦い
下総流山
武蔵板橋

新撰組
武蔵国、多摩郡
義豊
内藤隼人
兄
近藤周助 天然理心流
浪士隊
副長
局中法度
甲陽鎮撫隊
箱館五稜郭
榎本武揚

白洲次郎 (1902 ~ 1985)

マッカーサーと渡り合った吉田茂の懐刀。



学校で習ったレベル

教科書には載っていません。

大人として知っておきたいレベル

- 1. [] (都道府県) の生まれ。
- 2. [] 大学を卒業した。
- 3. 父の経営していた [] が金融恐慌の煽りを受け倒産したため、留学を断念し日本へ帰国した。
- 4. 戦前は [] の取締役を務めた。
- 5. 商談などで海外に赴くことが多かったため、そこで駐イギリス特命全権大使であった [] と知己になった。
- 6. 尾崎秀実らとともに [] のブレーンとして行動した。
- 7. 戦時中は農家を購入し、そこを [] と名付け農業に勤しんだ。
- 8. 1945 (昭和 20) 年、[] となり、官界に入り、吉田茂の懐刀となった。
- 9. GHQ の要求に対して主張すべきことを毅然として英語で主張したため、GHQ の要人から「 [] ならざる唯一の日本人」といわれた。
- 10. 1949 (昭和 24) 年、初代 [] 長官となった。
→このとき、汚職根絶を目指して商工省を改組し [] 省を設立した。
→この際の辣腕ぶりは「白洲 [] 」と評価された。
- 11. 日本で初めて [] を着用した人物とされる。

兵庫県
ケンブリッジ大学
白洲商店
日本水産
吉田茂
近衛文麿
ぶかいそう 武相荘
終戦連絡中央事務局次長
従順
貿易庁
通商産業省
白洲三百人力
ジーンズ

池田勇人 (1899 ~ 1965)

経済の池田と呼ばれた高度経済成長の立役者。



学校で習ったレベル

- 1. [] をスローガンとし、革新勢力との対立を避けた。
- 2. [] をスローガンとし、高度経済成長政策を推進した。
→このスローガンは [] 年に実現した。
- 3. [] 貿易と呼ばれる中華人民共和国との準政府間貿易を実現させた。

大人として知っておきたいレベル

- 4. [] (都道府県) の出身である。
- 5. [] (大学名) 卒業後、[] に入省した。
- 6. [] ・ [] などの占領下の経済政策を実行した。
- 7. 1951 (昭和 26) 年、[] 会議の全権代表となった。
- 8. 1952 (昭和 27) 年、[] のとき、失言問題で辞職した。
→このときの失言に「 [] の一部倒産もやむをえない」がある。
→このときの失言に「貧乏人は [] を食べ」がある。
- 9. [] の際に、指揮権が発動され、政治生命を救われた。
- 10. [] を最初の女性大臣 (厚生大臣) として入閣させた。

寛容と忍耐
所得倍増
1967 年
LT 貿易
広島県
京都帝国大学、大蔵省
ドッジ=ライン、シャープ勧告
サンフランシスコ講和
通産大臣
中小企業
麦
造船疑獄
中山マサ

現代